

くすの木通信

三高だより第204号

未見の我

校長 丸山 達也

明けまして、おめでとうございます。

今日から3学期が始まります。1・2年生にとって3学期は、この1年を締めくくる学期であると同時に、新2年生・新3年生の0学期でもあります。2年生は、最上級生としての自覚を持ち、進路目標の実現に向けての準備を、1年生は4月に入学してくる新入生の先輩として、学校行事や部活動を担う中核になるための準備を、それぞれ行ってほしいと思います。また、3年生にとっては4月からの新しいスタートに向けて最後の頑張り時です。1月13日・14日の両日には大学入学共通テストがありますが、受験者は最後まで最善を尽くしてほしいと思います。

さて、私は皆さんに、チャレンジ精神の大切さを伝えてきました。チャレンジすることは、「自分の知らない自分」を発見するうえで、必要不可欠です。人間には、「自分の知らない自分」つまり「未見の我」が存在し、人生とは「未見の我」に出会う旅でもあると言えるでしょう。皆さんにはいろいろな可能性があります。自分の可能性を信じ、失敗を恐れず精一杯チャレンジして、高みを目指してください。

最後に、安積得也（あずみ とくや）の詩集『一人のために』の中の「未見の我」を紹介します。今年も、三島高校の生徒たちにとって、そして保護者の皆様にとって、幸多い年になりますようお願いしております。今年もどうぞよろしくお祈りします。

「未見の我」

昼なお暗き大森林の
何千億の櫛の葉から
一番よく似た二枚を採って較べて見る
不思議だ
一枚だって同じものはないのだから
植物学者の語る事実が
鋭い暗示を
人間個性の問題に投げかける

人皆（ひとみな）の音が違うように
人皆の可能性が
おのがじしなる持ち味を蔵している
愕（おどろ）くべき真理だ
お互一人一人が
夫々に天下一品の特質を
おおいなるものから授かっているとは
人みな英雄！
そうだ

内に隠れて見えないけれども
現在（いま）こそ内に眠り底に潜んで
自分にも他人にも発見（わか）らないけれども
五尺の私のうちにこそ
未見の私の偉大な姿が隠れているのだ
ありがたや

自分の中には自分の知らない自分がある
強くして能あり
清くして正大なり
現在の我とは比較にもならぬ
未来相の我だ

私はもう私を見くびらない
弱小の私
無能の私
あやまち多い私

しかし私は未見の私の故に
私の全身全霊を愛惜する

彼はつまらぬ奴だ
馬鹿なまねをしやがった
しかし私は彼を見棄てない
彼の内なる未見の彼を
私は限りなく尊重する

（詩集『一人のために』から）

